



発行所 松山市旭町71
松山商業高等学校
編集兼発行所 松商新聞部
印刷 セキ(株)

才商魂
春風や
遍路飯くふ
仁王門

近江商人の教え

校長 宮部 隆彦



二三年生の皆さんは、今年度の始業式で私が話した「三方よし」の話を覚えているでしょうか。これは、近江商人の理念の一つです。近江商人とは、大坂商人・伊勢商人と並ぶ日本三大商人の一つで、近江国(現在の滋賀県)出身で近江国外に進出し、活動した商人を指します。近江商人は、まず、行商に始まり、市場の開拓、資本の蓄積ができる要地に出店を開設しました。特に江戸時代には、江戸・大坂・京都をはじめ各地に店舗を構え、商業界に大きな勢力を持っていました。このように他の地域(見ず知らずの土地)で、商売を繁盛させていくために、近江商人独特の考え(経営理念)が生まれてきました。その一つが「三方よし」で、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」を表し、売

り手の都合だけで商いをするのではなく、買い手が心の底から満足し、さらに商いを通じて地域社会の発展などに貢献しなければならぬ、という意味です。現代の企業経営では、企業は利益を追求するだけでなく、法律の遵守、環境への配慮、コミュニケーションへの貢献などが求められ、企業の社会的責任(CSR)が重要視されていますが、これも「三方よし」に由来する考え方であると言われています。しかし、社会的責任(CSR)とは、企業などの組織だけに当てはまるものではなく、当然私たち一人一人の個人にも当てはまるものなのです。「三方よし」を個人に当てはめると、自分にとっても、相手にとっても、また、周囲(人々、組織、環境等)にとっても、よい影響を与えることができる行動を心掛けましょう、となります。このように、全国を行商した近江商人たちが実践していたことは、商売にとどまらず、私たち一人一人の人間としての生き方を示

す理念でもあると言えます。近江商人の精神は時代を越えて受け継がれており、「三方よし」以外にも「近江商人の商売十訓」が有名ですので、紹介します。皆さん、この「商売十訓」を自分の生活の中に当てはめて、行動してみませんか。【近江商人の商売十訓】一 商売は世の為、人の為の奉仕にして、利益はその当然の報酬なり二 店の大小よりも場所の良否、場所の良否よりも品の何如三 売る前のお世辞より売った後の奉仕、これこそ永遠の客をつくる四 資金の少なきを憂うなかれ、信用の足らざるを憂うべし五 無理に売るな、客の好むものも売るな、客の為になるものを売れ六 良きものを売れば善なり、良き品を広告して多く売ることにはさらに善なり七 紙一枚でも景品はお客を喜ばせる、つけてあげるものがないとき笑顔で景品にせよ八 正札を守れ、値引き

は却って気持ち悪くするくらいが落ちだえよ、今日の損益を常に考えよ、今日の損益を明らかにしないでは、寝につかぬ習慣にせよ十 商売には好況、不況はない、いずれにしても儲けねばならぬ

第68回全国高等学校駅伝競走大会



2年連続出場
陸上部 大内宏樹
私たちは昨年12月24日に行われた全国高校駅伝に2年連続11回目の出場を果たしました。今年こそは「全国で勝負」という強い決意で大会に臨みました。

この1年の取組の甘さが結果に現れたのです。しかし、この大会で学んだこともたくさんあります。全国トップレベルの選手やチームと比較して、自分たちの弱点が見えてきました。その弱点を一つずつ改善していけば、必ず力が付いて、全国で戦えるチームがつかれると思います。

今年度の陸上競技部のテーマは、「一刹那正念場」感謝の心です。このテーマのもと一瞬一瞬を大切に、日々の練習に集中していきま

最後になりましたが、みなさんのご支援、ご声援、本当に力になりました。ありがとうございます。
「感想をひと言」
最初は不安でしたが、実習を重ねていくうちにコミュニケーションもとれるようになり、周囲の人たちとのつながりができてよかったです。
「工夫したことはありますか?」
今回は雨で商店街で販売しました。からくり時計やスタバが開店したことで人は多かったです。が、あまり人が寄ってきたくれないので、移動して班で集客しました。
「地域のみなさんとの関わりはありましたか?」
松商の認知度は高く、地域の方からも「知っているよ」と言ってもらえました。生徒がたくさんいたので、観光客の方は遠慮されたかもしれませ

第16回全日本ボクシング選手権大会

米田波華

私は全日本選手権にバンタム級で出場しました。当日はたくさんの方の応援が起り、中でも父がセカンドにつけな

強いことを知っていました。私は、父の声を探して下から前へ出たけれど、僅差の判定負けで三位という結果に終わってしまいました。私がこの全国の舞台に立てたのは家族や友達、先生方のサポートのおかげです。周りへの感謝を忘れず、次こそは優勝して恩返し



今年度新設された地域ビジネス科は、地域と連携しながら学内外で体験的な学習を行い、地域のリーダーの育成を目指しています。様々な活動を行っています。様々な活動のいくつかについて、生徒の責任者にお話を聞きました。

新設「地域ビジネス科」インタビュー

1、1000日実習 (宮岡さん)
「実習内容を教えてください。」
地域の様々な企業や施設で、数人のグループに分かれて実習します。私は前期は山の手ホテルで、後期は郵便局で実習しました。ホテルではスタッフの仕事内容を説明してもらいました。ホテルは非日常を味わう場所であり、スタッフがお

お客様の下座に立つという共通意識をもって仕事をすることで、過ごしやすいう空間をつくるのだというお話が印象的でした。郵便局では最近始めたサービスや利用状況などについての説明をもらいました。地域の人を守るいろいろな活動をしていることなど、知らないことが多く、新しい知識を得ることができました。

「大変なことはありますか?」
敬語がうまく使えなかったことです。日頃作っての活動だったので、子どもが興味をもつことを実感できました。
「地域のみなさんとの関わりはありましたか?」
自分たちのブースに来てくれた人々と話せました。地域活性化に少し



お城下マルシェ



1000日実習



にきたつの路 朝市